

旧美流渡中学校を芸術文化の交流拠点に！



美流渡地区には、炭鉱閉山後に、陶芸作家などが多く移り住み、平成18年の市町村合併以前から、芸術文化が地域に定着しています。地域では、平成31年3月に廃校となった旧美流渡中学校の校舎や体育館を、芸術文化の交流拠点として再生し、豊かな自然環境とともに将来に引き継ぐための取り組みが始まろうとしています。

豊かな自然と農村景観の中の温泉とアクティビティ



平成6年に整備され、平成30年にリニューアルした「ログホテル・メープルロッジ」は、地場野菜を使った食事や温泉、サウナも楽しめる人気の宿泊施設です。メープルロッジがある毛陽地区や隣接する万字地区には、4輪バギーやグランピング、地域おこし協力隊員が造成したBMXコース、万字炭山森林公園でのハイキングなどのアクティビティが用意され、道道38号沿いの果樹園では果物狩りも楽しめます。

日本遺産「炭鉄港」構成資産 旧朝日駅舎！



万字線鉄道公園内の旧朝日駅舎は、昭和60年の国鉄万字線廃止後も、地域の人たちに大切にされ、今日でも当時の面影を色濃く残しており、令和元年5月には日本遺産「炭鉄港」の構成資産として認定されました。また、令和4年度からは朝日コミュニティ交流センターに旧国鉄時代の鉄道資料を展示しており、駅舎と連動した、地域の歴史や魅力を後世に伝える取り組みを進めています。

東部丘陵地域の個性豊かな面々

